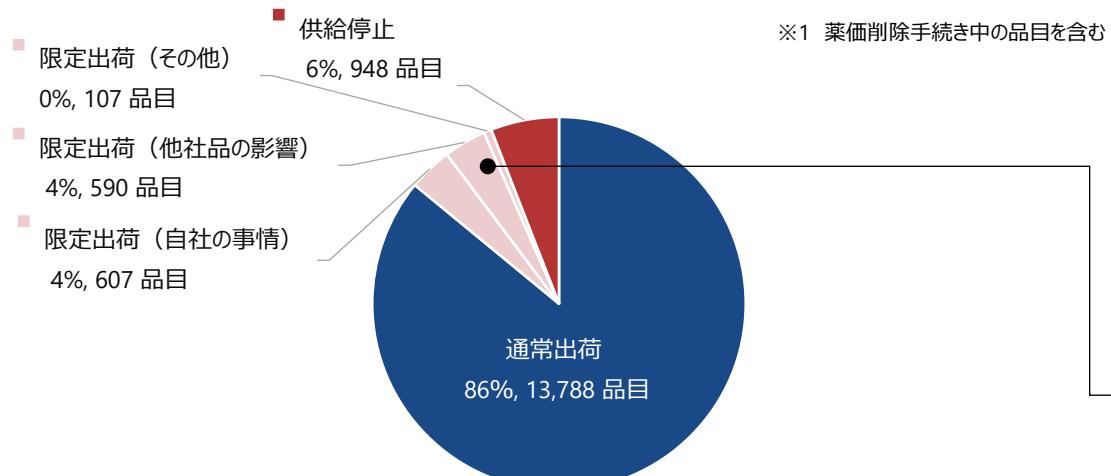


1 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年11月）

○ 製造販売業者の対応状況については、限定出荷・供給停止が合計14%（2,252品目）であり、限定出荷の要因としては「自社の事情」によるものが最多であった。

1 医薬品全体の対応状況 ※1



カテゴリー別：「供給停止」、「限定出荷」の割合

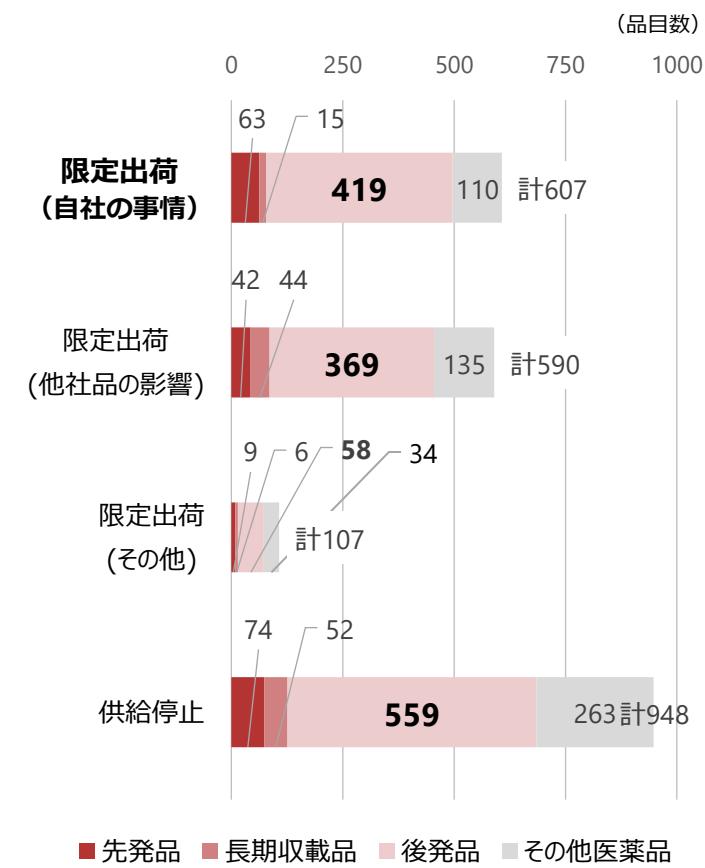
2025年11月 調査結果	供給停止		限定出荷	
	銘柄数	構成比	銘柄数	構成比
先発品	74	8%	114	9%
長期収載品 ※	52	5%	65	5%
後発品	559	59%	846	65%
その他医薬品 ※	263	28%	279	21%
合計	948	100%	1,304	100%

項目の定義

※長期収載品：後発品のある先発品

※その他の医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

2 限定出荷・供給停止の内訳



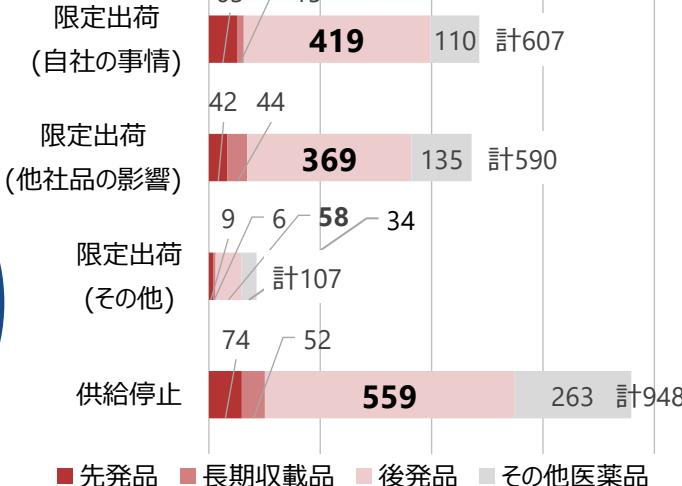
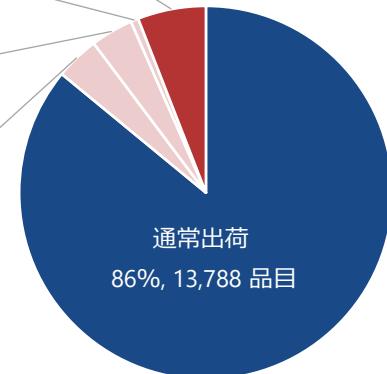
注：本集計については、令和6年度以前は「医薬品供給状況にかかる調査」（日本製薬団体連合会）、令和7年度以降は「医療用医薬品供給状況報告」（厚生労働省医薬産業振興・医療情報企画課）に基づく。以下同じ。

1-2 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年11月） (薬価削除予定品目有無別)

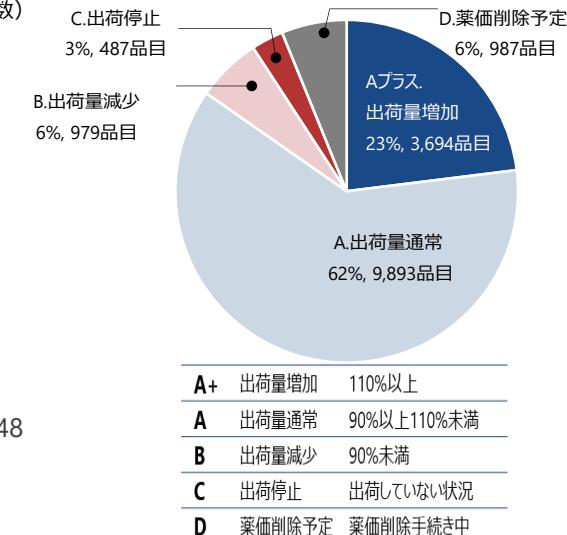
薬価削除予定品目含む

医薬品全体の対応状況

- 供給停止 6%, 948 品目
- 限定出荷（その他） 0%, 107 品目
- 限定出荷（他社品の影響） 4%, 590 品目
- 限定出荷（自社の事情） 4%, 607 品目

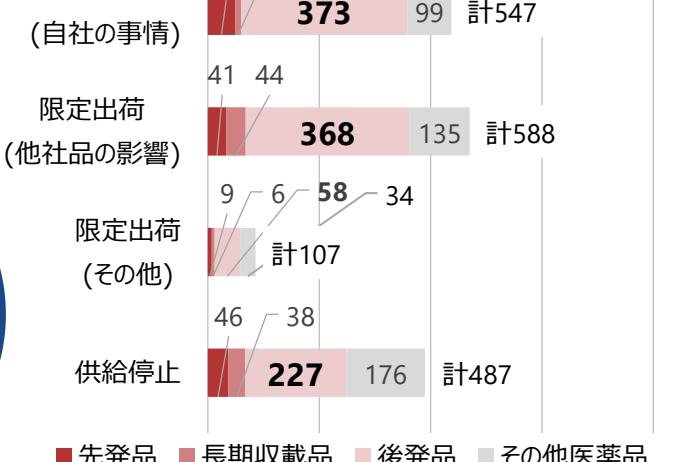
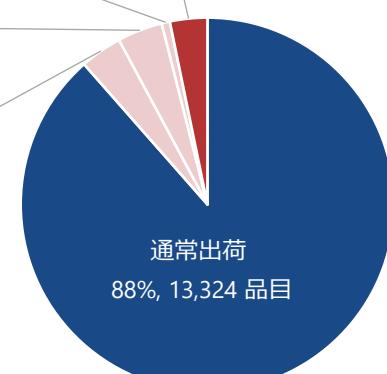


医薬品全体の出荷量の状況

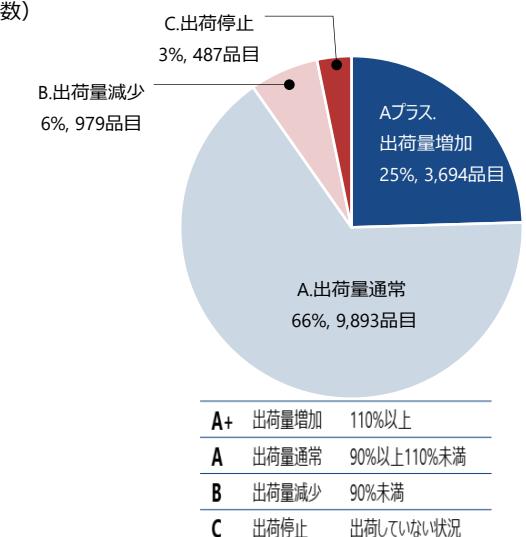


医薬品全体の対応状況

- 供給停止 3%, 487 品目
- 限定出荷（その他） 1%, 107 品目
- 限定出荷（他社品の影響） 4%, 588 品目
- 限定出荷（自社の事情） 4%, 547 品目

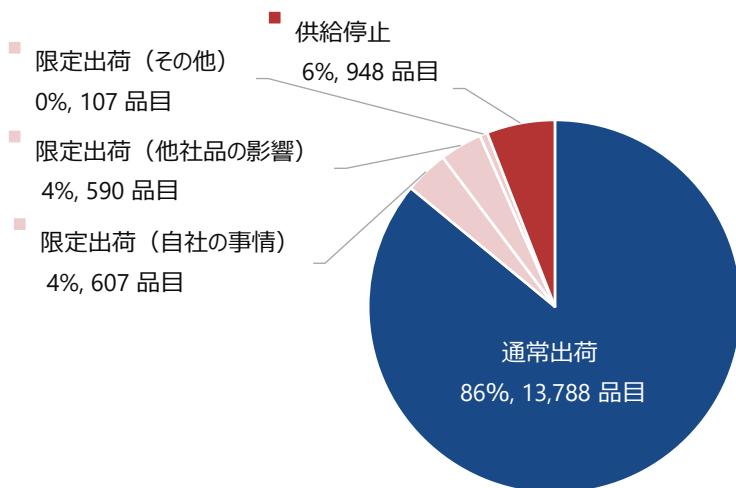


医薬品全体の出荷量の状況

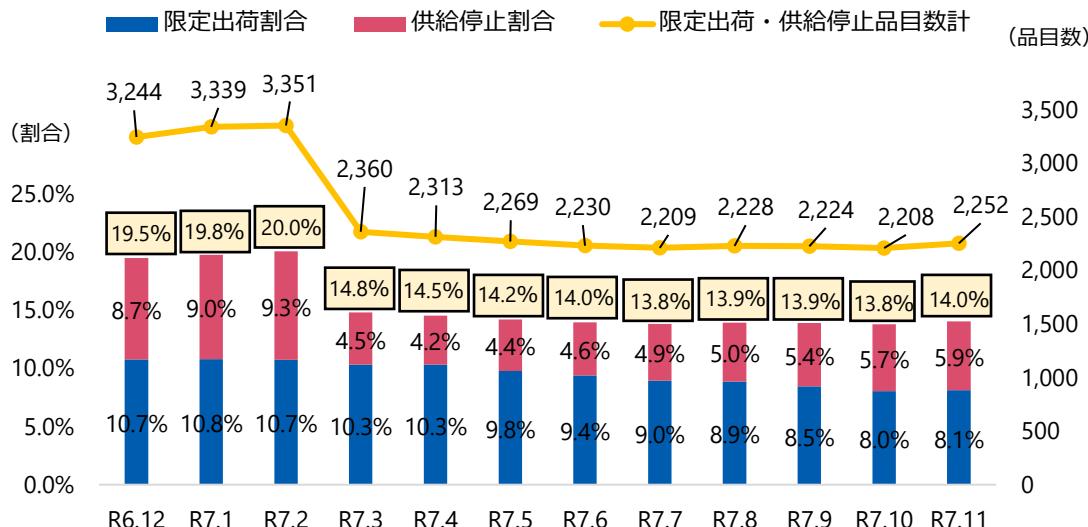


1 - 3 ① 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和6年～7年度） (供給(限定出荷・供給停止)の状況)

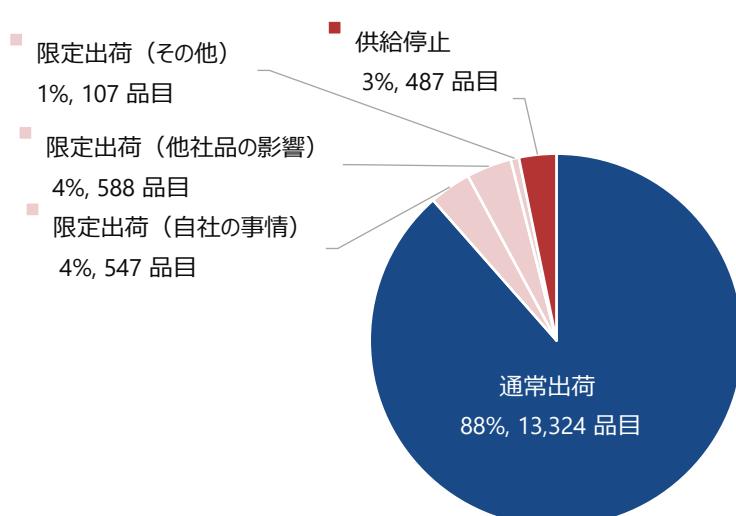
医薬品全体の対応状況（令和7年11月）



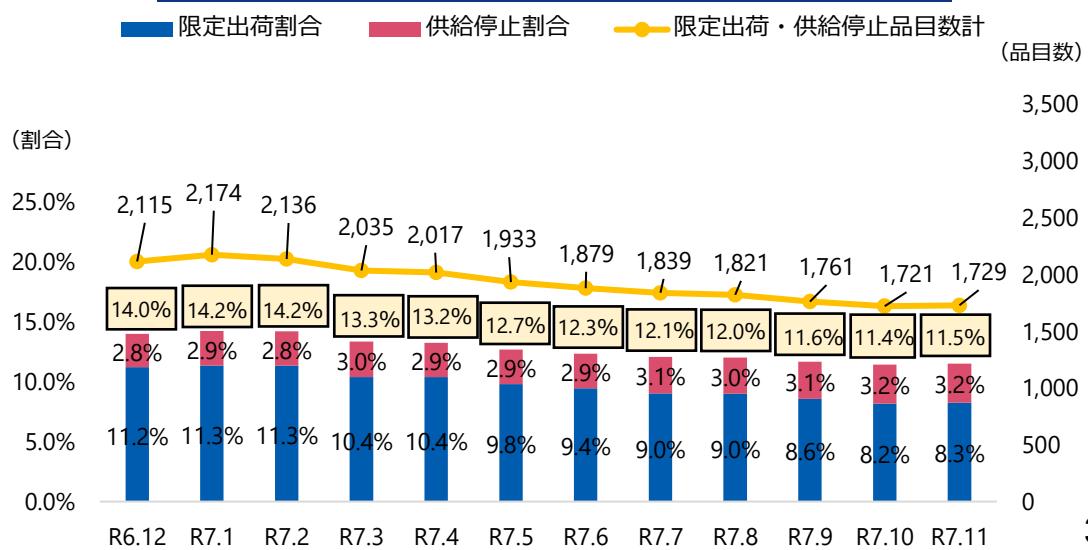
医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移



医薬品全体の対応状況（令和7年11月）

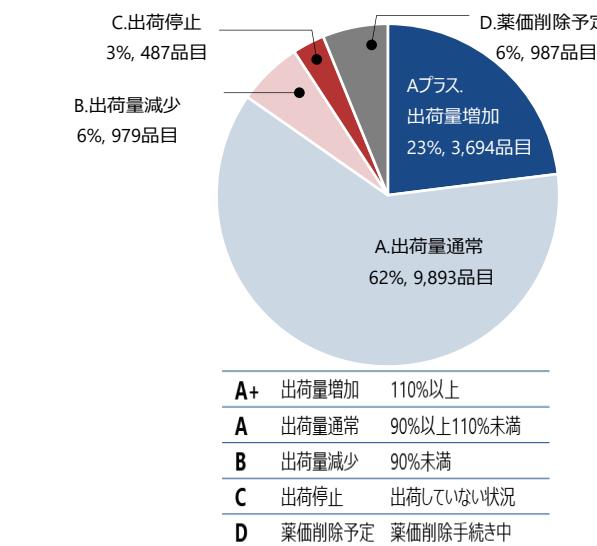


医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移

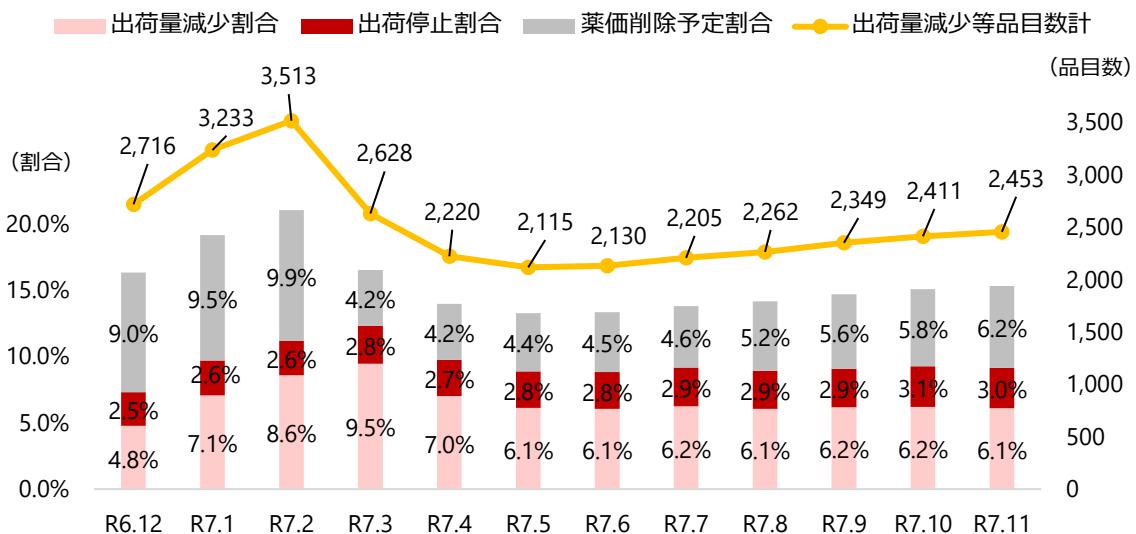


1 - 3 ② 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和6年～7年度） (出荷量（減少・停止・薬価削除予定）の状況)

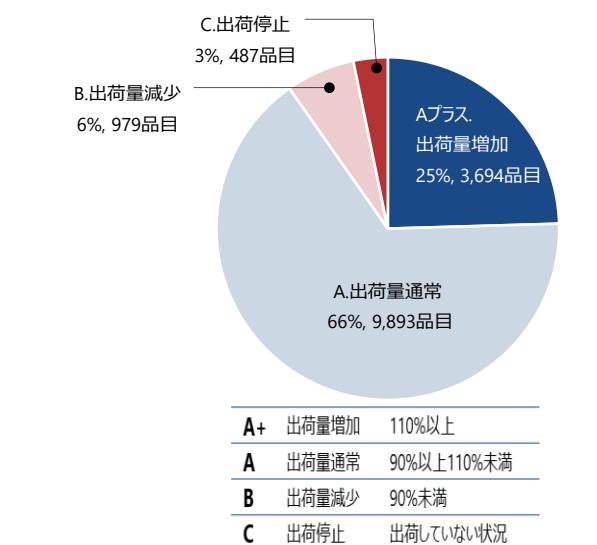
医薬品全体の出荷量の状況（令和7年11月）



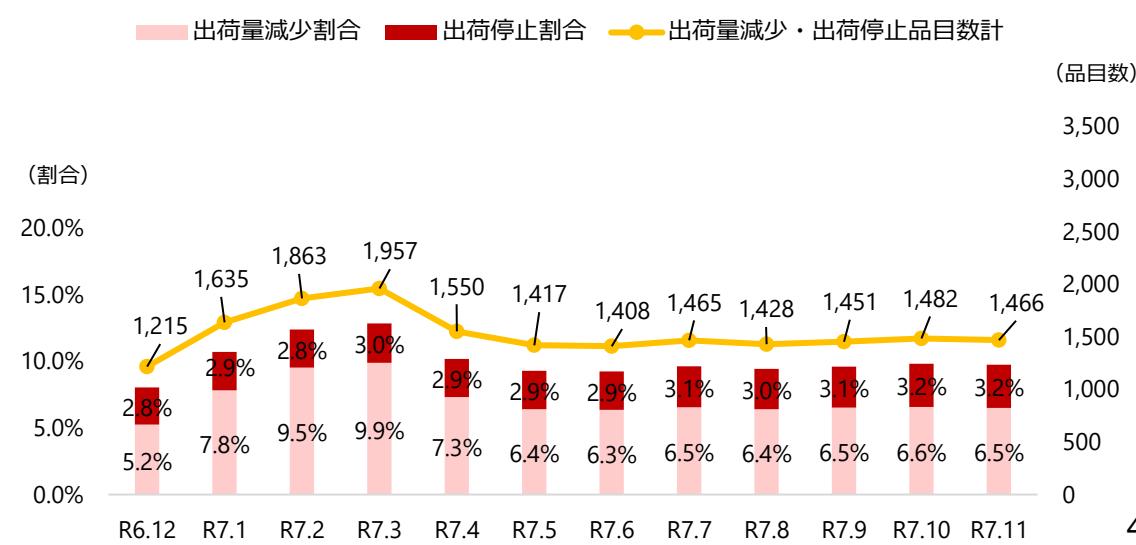
医療用医薬品の出荷量の推移



医薬品全体の出荷量の状況（令和7年11月）



医療用医薬品の出荷量の推移

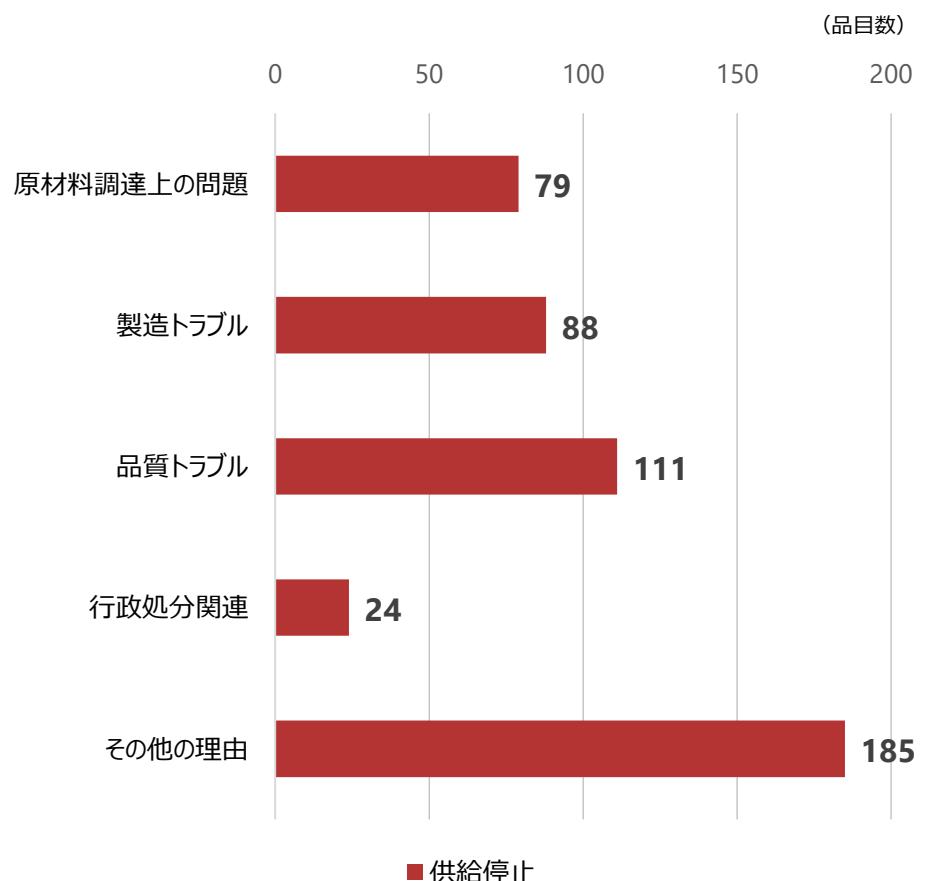


薬価削除予定品目含む

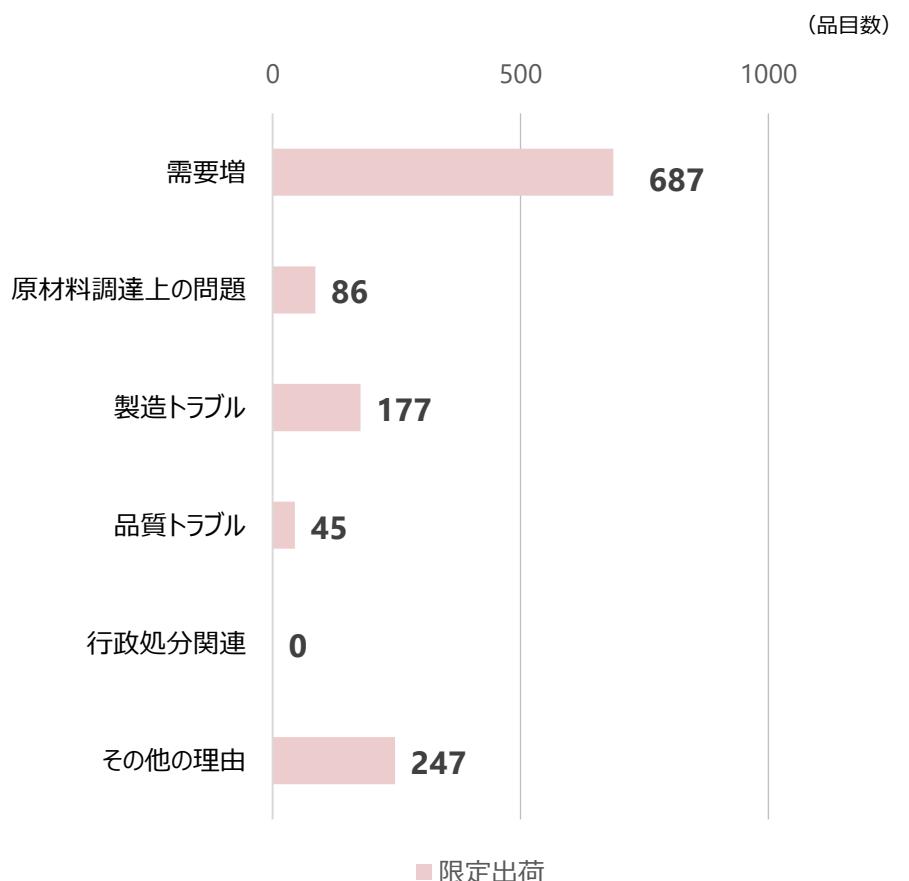
1 - 4 供給停止・限定出荷の理由（令和7年11月）

- 供給停止948品目、限定出荷1,304品目について、供給停止・限定出荷の理由の回答を得た。**供給停止の理由は「その他の理由」が最も多く、限定出荷の理由は「需要増」が最多**であった。

1 供給停止の理由 ※1



2 限定出荷の理由 ※2



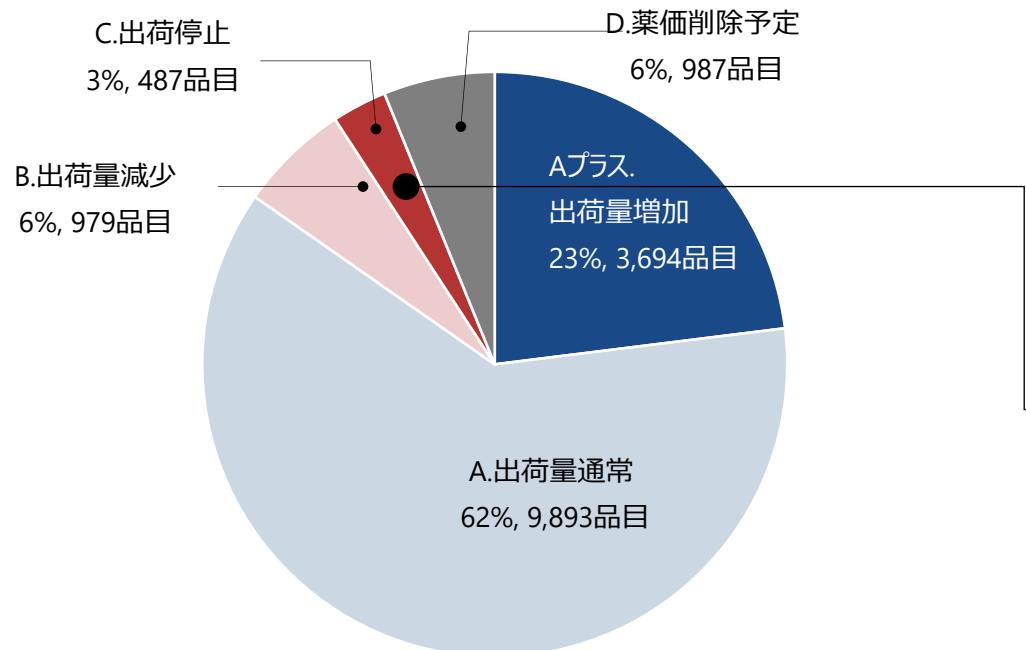
※1 薬価削除が理由である461品目は除く。

※2 薬価削除が理由である62品目は除く。

2 製造販売業者の出荷量の状況—医薬品全体（令和7年11月）

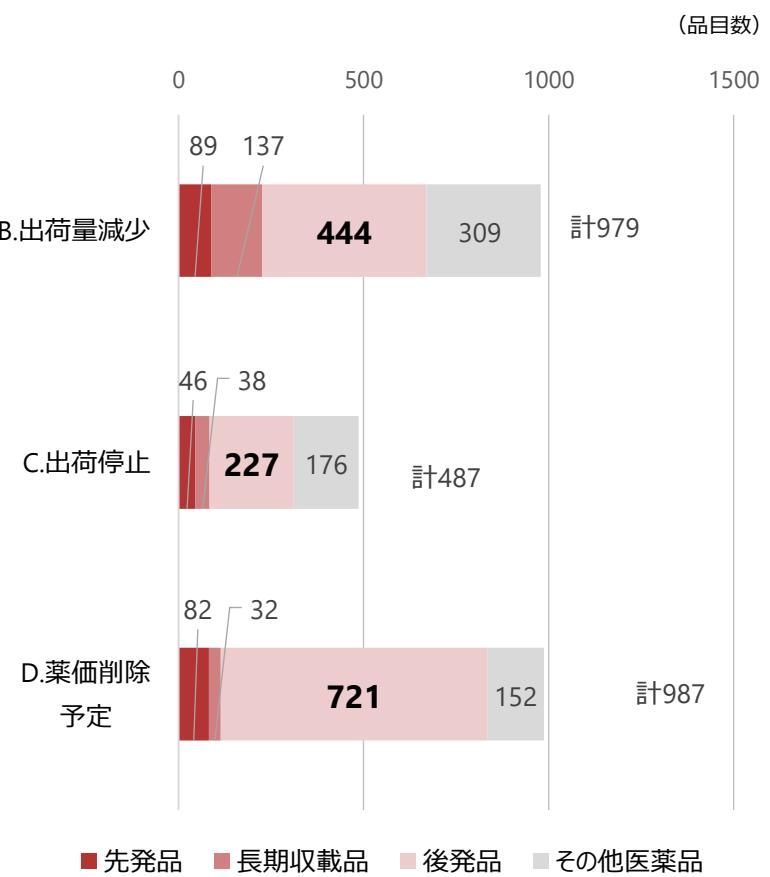
○ 製造販売業者の出荷量の状況については、出荷量通常は合計85%、出荷量通常以外の出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定が合計15%であり、出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳としては、いずれも「後発品」が最多であった。

1 医薬品全体の出荷量の状況



A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

2 出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳



■先発品 ■長期収載品 ■後発品 ■その他医薬品